

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 積水ハウス・リート投資法人
 代表者名 執行役員 木田 敦 宏
 (コード番号：3309)

資産運用会社名
 積水ハウス・アセットマネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役社長 阿 部 亨
 問合せ先 IR部長 齋 藤 孝 一
 TEL. 03-6447-4870 (代表)

保有物件における再生可能エネルギー由来電力の導入に関するお知らせ
(広小路ガーデンアベニュー)

積水ハウス・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本投資法人が保有する「広小路ガーデンアベニュー」（以下「本物件」といいます。）において、再生可能エネルギー由来の電力を導入（以下「本取組み」といいます。）することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本取組みの概要

物件番号	物件名	電力供給会社	電力供給開始日
0-006	広小路ガーデンアベニュー	大阪ガス株式会社	2023年5月1日

本取組みは、本物件における電力需給契約について、大阪ガス株式会社（以下「大阪ガス」といいます。）が提供する「積水ハウスオーナーでんき」に切り替えることにより、本物件の電力使用による CO₂ 排出量を実質ゼロとするものです。

「積水ハウスオーナーでんき」は、本投資法人のスポンサーである積水ハウス株式会社（以下「積水ハウス」といいます。）が施工した戸建住宅等に設置された太陽光発電システムのオーナー等から、電力会社（本物件においては大阪ガス）が固定価格買取制度（FIT）の期間終了後に太陽光発電の余剰電力を安定した価格で買取り、積水ハウス等に売電する取組みであり、買い取った電力の供給を受けることにより実質的に再生可能エネルギー由来の電力を調達し、CO₂ 排出係数をゼロとすることが企図されています。

2. 本取組みの理由

本投資法人は、ESG（環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance））へ配慮した不動産投資運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

本投資法人は、気候変動への対応推進をマテリアリティ（重要課題）の一つとして位置付け、中期目標としてポートフォリオの CO₂ 排出原単位を「2030 年度までに 2018 年度比 50%削減すること」に加え、新たに長期目標として「2050 年度までにカーボンニュートラルを達成すること」を設定しています。本取組みは、ポートフォリオの CO₂ 排出量の削減が見込まれることから実施するものです。

なお、本取組みを通じて、本投資法人は SDGs（持続可能な開発目標）の目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」及び目標 13「気候変動に具体的な対策を」に貢献いたします。

【関連する SDGs】



3. 本投資法人の今後の対応

本投資法人は、ESG への取組みが社会的にも求められるなか、カーボンニュートラルへの意識の高まりによる入居者・テナントの需要変化への対応を事業機会と認識しています。今後も CO₂ 排出量の削減に向けた様々な取組みを推進することで、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、保有物件の資産価値及び企業価値の向上に向けて取り組んでいく方針です。

以 上

※ 本投資法人のウェブサイト：<https://sekisuihouse-reit.co.jp/>